

# 租税教育実践レポート

## わたしたちの暮らしと税金の関わり



登米市立米山東小学校教諭 6学年 三塚 佑菜

実施年月日：令和5年5月26日 23名

### 1 実践計画・指導のねらい

「税金」という言葉を知っていても、その働きや使われ方について理解している児童は少ない。そこで、本実践では、社会科の学習やゲストティーチャーを招いての「租税教室」の実施を通して、税金の役割や必要性について理解を深めたい。また、税金について興味・関心を持ち、自分たちの生活との関わりについても気付くことができるようにしたい。

### 2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	【国の政治のしくみと選挙】 ・国会の働きについて教科書やタブレット端末を活用して調べ、ノートにまとめる。	○ 国会の働きについて調べましょう。 ● 法律を決めるはたらきがある。 ● 税金の使い方も国会で決めている。 ● 国会議員は、選挙によって選ばれる。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
2	【国の政治のしくみと選挙】 ・選挙のしくみや税金の働きについて教科書やタブレット端末を活用して調べ、ノートにまとめる。	○ 税金はどのように集められるのでしょうか。 ● 消費税，所得税，住民税等 ○ 税金はどのように使われているのでしょうか。 ● 消防，学校，医療等 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍） 資料集（社会科資料集6年 文溪堂）
3	【租税教室】 ・登米法人会からゲストティーチャーを招き、税金の種類や使われ方、税金の必要性について知る。	○ 税金を使って作られた施設はどれですか。 ● 図書館，公園 ○ 税金が払われないとどうなるのでしょうか。 ● 困る人が出るのではないか。 ● 救急車を呼ぶのに何万円とお金がかかるとは知らなかった。   □ 使用教材名 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」
4	【震災復興の願いを実現する政治】 ・市民の願いを実現するために税金がどのように使われたのか、教科書を活用して調べ、ノートにまとめる。	○ 震災が起きたとき、税金はどのように使われたのでしょうか。 ● 復興特別税があった。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
5	【これらに向けたまちづくり】 ・学んだことを振り返り、どんな施設があったらいいか考え、学習プリントにまとめる。	○ 地域にあったらいいと思う公園を考えましょう。 ● 広いスペースがあるといいな。 ● 子供連れの人でも使えるように遊具を設置したい。 ● きれいな公園になるようにゴミ箱を設置したい。 □ 使用教材名 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
6	【学んだことを生かそう】 ・学んだことをもとに、「税に関する標語」を作成する。	○ 税金の大切さや働きを伝えるための標語を考えよう。 □ 使用教材名 漫画「おじいさんの赤いつぼ」

#### 【指導のポイント】<<1時間目>>

国会では、税金の使い道について話し合っていることや、国会議員は国民からの投票で選ばれていることをおさえた。

#### 【指導のポイント】<<2時間目>>

消費税という言葉は身近であるが、他の税の種類については知らない児童が多い。どのような税なのか、調べたりまとめたりする時間を設けた。また、税金の使い道についても資料集の挿絵をもとに捉えさせた。

#### 【指導のポイント】<<3時間目>>

ゲストティーチャーの講話を聞き、税金の使われ方について理解を深めることができた。DVD教材や1億円のレプリカなど、子供たちにとって分かりやすく、税金について身近に感じることができていた。税金の必要性に気付くことができた。

#### 【指導のポイント】<<5時間目>>

これまでの学習を振り返りながら、これからの生活に生かすことができるよう、身近な地域に目を向けさせた。税金の役割をもう一度考え、どのように使うとよいかなど、自分事として考えさせた。

#### 【指導のポイント】<<5時間目>>

学習のまとめとして、「税に関する標語コンクール」に出品する標語を考えた。いただいた漫画を読み返しながら、税金の役割や必要性について捉えさせるようにした。

### 3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 租税教室では、分かりやすく税金の役割や使われ方を教えていただき、児童自身も税金の大切さについて理解することができた。また、登米市内の税金で運営されている施設を基に説明をいただいたので、税金を身近に感じることができた。
- ◎ 税に関する標語への作品応募を通して、社会科での学習や租税教室で学んだことを振り返ることができた。
- ◆ 学習の中で難しい言葉が多く出てくるため、理解するまでに個人差があったり、興味・関心を持たせることができない場面があったりした。身近なことから連させながら指導をすることでより理解を深めさせたい。